



こんげつのとくしゅうは

バリアフリー みんなちがって、みんないい



わたしのくつしたはどこ？

ゆめみるアデラと目のおはなし

フロレンシア・エセラ／文 ベルナルディータ・オヘダ／絵 あみの まきこ／訳
岩崎書店 えほん-オヘ

けんきゅうじょ はたら いぬ まわ りで、この頃ふしぎなことばかり。
あか くつした き 道をまちがえたり。仕事場には
だいじ 大事なフラスコがありません。ある日、親友の姿がないのに、声だ
けが聞こえてきました。いったい何が起きているの？



小学校中学年から
高校生に！

ぼくのいうことを、きかないぼく

柴野 理奈子／作 中田 いくみ／絵
トゥレット当事者会／監修
ポプラ社 F-シハ

しょうがく ねんせい しゅん かっで からだ
小学6年生の駿は、勝手に体
が動いたり、声が出たりする症
状に悩まされていましたが、おど
けてごまかしていました。駿と一
緒に「学習発表会」の準備をす
るようになった友人は、次第に、
駿の笑顔の裏に隠された悩みに
きづき始めます。



みんなでつくる「読書バリアフリー」

だれもが読める本のかたち

成松 一郎／著 フジマツ ミキ／イラスト
河出書房新社 YA 019

もじ ちい ほん も
文字が小さい、本を持つことが
できないなどの理由で、本が読み
にくい人がいます。障害を持つ6
人のインタビューを通して読みや
すい、わかりやすい本について読
者もいっしょに考えることができ
る本です。



どうして ダブって みえちゃうの？

ジョージ・エラ・リヨン／文 リン・アヴィル／絵 品川 裕香／訳
岩崎書店 えほん-アウ

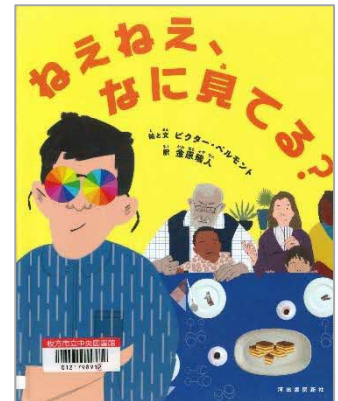
学校で目の検査があるまで、ダブル・ビジョンに気がつかなかったジニーは、みんなも二重に見えていると思っていました。でも、片目で見るとさぎの耳もちゃんと2本に見えます。治療に行くと、先生がカッコイイ眼帯をくれました。かいぞくジニーのたんじょうです。



ねえねえ、なに^み見てる？

ビクター・ベルモント／絵と文 金原 瑞人／訳
河出書房新社 えほん-ヘル

色覚異常のトーマスは考えました。「ぼくは人と見え方がちがうらしいけど、みんなはどう見えているんだろう。科学者のママ、画家のおばさん、恐竜好きのいとこ、もの知りのおじさん、おじいさんおばあさん…本当におなじ景色が見えているのかな？」



バスが^き来^きましたよ

由美村 嬉々／文 松本 春野／絵
アリス館 えほん-マツ

目の病気になった「わたし」は、まったく目が見えなくなりました。職場へはバスで通いますが、毎日不安でいっぱいでした。そんなある朝、バスを待っていると「おはようございます。バスが来ましたよ。」という、かわいい声が聞こえてきたのです。



ヘレン・ケラーとかわした手紙^{て がみ}

横田 明子／作
文研出版 289-1

19歳で視力を失った岩橋武夫は、目の悪い人たちへの福祉活動に情熱を注いでいきます。そんななか、講演先のアメリカでヘレン・ケラーと出会います。武夫は、障がい者福祉の実現のために、ヘレン・ケラーに来日を依頼します。

